

# べっかい 議会だより



71

遊歩道で自然情報を提供、自然ガイドの果たす役割は大きい！

## 特集

- 子ども・子育て支援新制度ってどんなこと…… 2
- 別海高校3間口維持に向けた取り組み …… 3
- 町政のここが聞きたい…………… 7
- 一般質問（安田・松原・森本・木嶋・中村・瀧川の6議員）

シリーズ 志を受け継ぐ 別海町野付半島ネイチャーセンター なかつか 中塚 ともこ 智子さん…16



2014.11.1  
北海道別海町議会

# 子ども・子育て支援 新制度ってどんなこと

平成24年8月に子ども・子育て関連3法※が成立し、認定子ども園、幼稚園、保育所を通じた共通の給付が創設され、各自治体が策定する計画に基づき、子育て支援の充実を図るため「地域子ども・子育て支援事業」が行われることになりました。

## 国の示した要点は

- ① 幼稚園、保育所などの施設型給付と、小規模保育などへの地域型保育給付の創設。  
都市部の待機児童解消と、子ども数が減少傾向にある地域の保育機能の確保に対応。
- ② 利用者支援、放課後児童クラブ、一時預かりなど充実を図る。
- ③ 地域の要求を調査し、計画を作る。
- ④ 子ども・子育て会議を設置し、意見を計画づくりに反映する。
- ⑤ 社会全体で費用負担する。消費税増税で財源を確保し、子育て支援の質と量を拡充する。

## 現在の課題と対応

別海町では2000人を対象にアンケート調査を実施しています。また、子育ての当事者である保護者の代表、保育園、幼稚園、児童関係者、民生委員など12名で子ども・子育て会議を設置し、意見を反映することにしました。

へき地保育園は新制度では定義が継承されず、保育施設として存続させていくためには、解決しなければならぬ課題があるのが実情です。幼稚園の今後のあり方も含め、全体像を把握するまでには至っていません。

保育料の水準は新制度では保護者の所得に

応じた負担が基本となり、市町村で定めることになっていきます。正式な額は平成27年度予算編成を経て決定されます。しかし、現在国から示される内容は遅れており、制度移行に伴う作業に影響を及ぼしています。

### ※子ども・子育て関連3法とは

- ① 子ども・子育て支援法
- ② 認定子ども園の一部改正法
- ③ 児童福祉法の一部改正等関係法律の整備法

### 議員から

- へき地保育園の利用料は低額に抑えられ、出生率（北海道では2番目に高い）の増にもつながっていると考えられる。保育園も含め、現在の料金から大幅に上がらない形で検討してほしい。
- 現在のへき地保育園

は園児が10人いることが設置の基準となっているが、今後はどうなるのか。

- 現行の状況よりも良い環境の制度にしても構わない。

など要望が出ました。

### 子ども・子育てに関する条例が決まりました

- 平成27年4月から、子ども・子育て支援事業を実施するために、3条例を制定しました。
- 家庭的保育事業等の設備及び運営
  - 放課後児童健全育成事業の設備及び運営
  - 特定保育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営
- （条例の正式名称は省



お昼休みに仲良く遊ぶ子ども達（豊原へき地保育園）

略しています）  
家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育事業の4事業について、その設備と運営に関する基準を定めます。

また、保護者が労働などで昼間家庭にいない小学生に対し、児童の健全育成を図る事業について、その設備や運営に関する基準を定めています。

（関連記事14ページ）

# 魅力ある学校を目指して 別海高校3間口維持に向けての取り組み



平成27年度より普通科1学級減となる別海高校

**平成27年度別海高等学校普通科  
一学級減となった経過**

本年6月に北海道教育委員会は新たな高校教育に関する指針に基づき、平成27年から29年度の公立高等学校計画案を示しました。当根室学区において、別海高校普通科は、平成26年度入学者選抜における第2次募集後の

欠員が1学級相当(40人)以上で学級減となり、2学級となりました。根室学区では、根室市で2校が1校に統合されるなど、全道的に学級減や統合が進んでいます。

**町・議会の対応と  
新たな取り組み**

6月13日臨時校長会を開催し対応を協議、同月26日には各中学校学区より学級減とならないように要請書を提出しました。

180名となり増加の傾向です。このことを踏まえ再三要請行動を実施し、27年度に再度検討する旨の回答を得ました。今後とも推移を注視していきたいと思えます。(関連記事10ページ)

また、7月1日には北海道別海高等学校教育振興会臨時総会を開催するなど対応するとともに、新聞に住民啓発折込みを入れるなどのほか、別海高校の普通科3学級の維持を求める署名を町内会に依頼しました。(最終的には9000人以上の署名が集まりました。)これを受けて7月と8月の2回、北海道教育委員会に水沼町長を団長として要請行動を実施しました。

**別海高校への支援策**  
(順次実施する計画です)

- 1 通学費補助(無償化)【新規】
- 2 部活バスの運行
- 3 部活動遠征費補助【拡充】
- 4 進学対策講習受講補助【新規】
- 5 大学視察事業補助
- 6 高校生検診
- 7 海外派遣事業
- 8 寄宿舍借上げ事業【新規】



大学視察事業で夢をふくらます別海高校生

# 第3回 定例会

9月9日～12日開催

第3回定例会は9月9日～12日の4日間の会期で開かれました。審議の様子をお伝えします。

## 平成26年度 補正予算一覧表

<b>■一般会計の主な補正（歳出）</b>	
○老人福祉費（新デイサービスセンター建設補助費）	500万円増額
○環境衛生費（エゾシカ被害対策事業）	636万円増額
○じん芥処理場費（旧ごみ焼却処理施設煙突解体撤去調査・設計委託料）	64万円増額
○企画費（町振興奨励事業補助）	75万円増額
○農業委員会（農地情報公開システム整備事業）	124万円増額
○農業費（農道整備事業調査設計委託料など）	3919万円減額
○水産業振興費（水産加工流通施設改修事業）	385万円増額
○観光費（旧交流センター補修事業ほか）	583万円増額
○道路維持費（町道維持補修費ほか）	2086万円増額
<b>■一般会計の主な補正（歳入）</b>	
○地方交付税（普通交付税）	683万円減額
○道補助金（地域づくり総合交付金ほか）	1138万円増額
○財産売払収入（株券等売払収入）	6450万円増額
○繰入金（財政調整基金）	1億6200万円減額
<b>■下水道事業特別会計の主な補正（歳出）</b>	
○処理場費（下水道汚泥処分委託料ほか）	402万円増額
<b>■下水道事業特別会計の主な補正（歳入）</b>	
○繰入金（一般会計繰入金）	745万円増額
<b>■介護保険特別会計の主な補正（歳出）</b>	
○償還金（交付金返還金）	400万円増額
<b>■介護保険特別会計の主な補正（歳入）</b>	
○道負担金（介護給付費負担追加交付金）	595万円増額
<b>■水道事業会計の主な補正（収益的支出）</b>	
○給与費（職員給与増額による）	237万円増額

バイオガス発電施設の株を  
売払い6450万円の収入

今回の補正予算に関する事業名や金額などは左表のとおりです。平系地区に建設中のバイオガス発電施設に対し、町は1億2900万円を出資していましたが、今回、中春別

農協に490株（4900万円）、道東あさひ農協に155株（1550万円）を売りました。これにより当町の持ち株は645株（6450万円）になりました。

25年度決算で1億6300万円繰り越しされました。これによって財政調整基金に1億6200万円が繰戻され、現在の残高は2億8000万円です。ダイオキシン対策で撤去が遅れていた旧ごみ焼却処理施設の煙突解体撤去調査・設計委

託料が計上されました。町振興奨励事業補助では、みどりの里会館（美原）の屋根補修が行われます。町道維持補修事業で、防雪柵設置解体に1700万円増額されました。



建設が進むバイオガス発電施設

平成25年度一般会計・国保会計など8会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。審査は10月から11月にかけて行われ、12月の定例会で全議員に報告され、認定について採決します。

### 平成25年度 各会計決算審査特別委員会

平成25年度一般会計・国保会計など8会計の決算内容を審査するため、各会計決算審査特別委員会が設置されました。	次のとおりです。
委員長 西原 浩	委員 森本 一夫
副委員長 安田 輝男	委員 中村 忠士
委員 戸田 博義	委員 安部 政博
委員 安部 政博	委員 沓澤 昌廣
委員 木嶋 悦寛	委員 木嶋 悦寛

別海町議会議員の議員報酬額及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定と討論

(賛成13名 反対3名)

別海町議会議員報酬額の新旧対照表 (月額)

	改正後	改正前
議長	変更なし	306,000円
副議長	246,000円	245,000円
常任委員長	234,000円	219,000円
議会運営委員長	234,000円	219,000円
議員	222,000円	193,000円

**反対** 中村忠士議員  
 青年、壮年世代から議員として活躍してほしい、そのためにも報酬は整えるべきだと考えます。  
 しかし町づくりの基本である住民と決める過程での説明責任、意見交換、情報共有の時間がとられていません。

**賛成** 松原政勝議員

将来に向けてどのような方法がいいかなど特別委員会で協議し、賛成多数で今回の結論となりました。  
 今後開かれる議会報告会で、内容をしっかりと説明し、責任を果たすということとし賛成とします。

委員会条例の一部を改正しました

提案者 戸田 博義 議員

別海町議会委員会条例に追加しました。

広報・広聴常任委員会7人以内  
 調査内容  
 ア・広報誌の編集及び発行に関する事項  
 イ・広報・広聴の実施に関する事項  
 ウ・広報・広聴の調査及び研究に関する事項

委員の推薦を承認しました

◆人権擁護委員の選任

任期満了に伴い、山藤史江さん(西春別駅前)の選任に同意しました。任期は3年です。



山藤史江さん

国に意見書を提出しました

2件の意見書が提出され、1件は全会一致で可決。集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回と立法作業中止を求める意見書は、反対多数(賛成3名・反対13名)で否決しました。

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた意見書

提案者 安田 輝男 議員 他2名

地球温暖化など環境問題の中、二酸化炭素を吸収するなど森林や木材が果たす役割がこれまで以上に重要となっている。

人工林資源が利用期を迎える中、森林の整備保全を着実に進めるために、林業・木材産業の成長を実現するための充実強化を強く要望する。

◆集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回と立法作業中止を求める意見書

提案者 中村 忠士 議員 他2名  
 安倍政権は、国民多数の反対の声に背いて、集团的自衛権行使容認する憲法解釈変更の「閣

議決定」を強行した。憲法のもとで海外での武力行使は許されないという60年以上にわたって積み重ねられてきた政府見解を180度転換し、「海外で戦争する国」へ道を開くものとなっている。

集团的自衛権行使容認の閣議決定の撤回と立法作業中止の討論

(賛成3名 反対13名)

**反対** 松原政勝議員

集团的自衛権の行使容認は、他国に攻め入るのではなく他国と協調して抑止力を高めることで攻められない国とするのが最大の目的です。

**賛成** 木嶋悦寛議員

日本は、平和憲法のもと不戦を貫いてきました。非軍事活動が軍力を抑制的に用いる日本の自衛隊は、再評価されているのです。

これは他国にはできない日本の独自性であり、国際的な信頼を獲得してきました。今こそ積極的な国際平和協力に向け、日本が築き上げてきた財産を活用するときです。以上賛成討論とします。

閣議決定だけで直ちに行使できるのではなく、自衛隊法など各種関係法の改正が必要であり、民主的な法治国家として国会において速やかに審議を行うことを希望し反対討論とします。

各議案・意見書採決結果		木嶋悦寛	松壽孝雄	森本一夫	今西和雄	西原浩	沓澤昌廣	小林敏之	安部政博	瀧川榮子	山田信勝	松原政義	戸田博忠	中村忠悦	戸田憲初	佐藤輝雄	安田輝男	渡邊政吉	採決結果
議案	平成26年度一般会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度 介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成26年度水道事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	家庭的保育事業の設備及び運営に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特定教育・保育施設などに関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険事業計画策定委員会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員報酬、費用弁償に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	○
	重度心身障がい者など医療費助成に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	道市町村職員退職手当組合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	町道の路線認定・廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	別海町議会委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	林業・木材産業の充実、強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回と立法作業中止を求める意見書	○	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●	○	

○原案賛成 ●原案反対 ※議長は可否同数の場合に決裁権がある

# 「議会報告会」2014

西春別・別海・尾岱沼の3会場で開催



昨年度行われた議会報告会（本別海会場）

## 各委員会のメインテーマ

### <総務文教>

- ・総合スポーツセンター指定管理者導入について
- ・（仮称）生涯学習センター建設について

### <福祉医療>

- ・特別養護老人ホームの建替えについて
- ・子ども子育て支援対策について

### <産業建設>

- ・別海町畜産環境条例・河川環境条例制定について
- ・別海町ふるさと交流館指定管理者制度への経過

議会に対する町民の意見や町政に対する提言などを直接聞く場として「議会報告会」を3会場で開催します。多数の皆様のご出席をお待ちしています。

## 日程と会場

西春別地区	11月6日(木)	午後7時～午後9時	西春別ふれあいセンター
別海地区	11月7日(金)	午後7時～午後9時	交流館ぷらと
尾岱沼地区	11月10日(月)	午後3時～午後5時	尾岱沼地域センター（きらくる）

一般質問とは、行政全般について議題とは関係なく議員主導で政策論議できる仕組み。質問内容は事前に通告する必要があり、定例会でのみ行える。持ち時間は一人60分となっている。

# 町政の こころが聞きたい

第3回定例会では2日目(9月10日)に6議員が一般質問をしました。各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。詳しい議事録は町のホームページに掲載しています。

## ■安田 輝男 議員……………8

- 1 町長の3期目に向けた出馬意思は

## ■松原 政勝 議員……………9

- 1 別海病院で血液透析の受入ができないか

## ■森本 一夫 議員……………10

- 1 別海市街地の活性化対策を早急に
- 2 別海高校普通科3間口維持にむけて具体的な対応は

## ■木嶋 悦寛 議員……………11

- 1 地域生活バスの運行見直しで交通弱者対策を
- 2 自殺予防対策の推進は

## ■中村 忠士 議員……………11

- 1 海兵隊情報公開の面で後退している
- 2 期日前投票所を複数個所に

## ■瀧川 榮子 議員……………12

- 1 ご意見箱の活用効果は
- 2 町歌を町民が歌えるために

## 議会広報モニターインタビュー

一般質問の傍聴に訪れた議会広報モニターの鈴木浩枝さんにお話を伺いました。



鈴木浩枝さん

**広 報…** 議会傍聴の感想は

**鈴 木…** 以前何度か傍聴に来ています。いつも同じ人の質問ばかりでしたが、今回は私が聞いたことのない人の質問を聞くことができ、よかったです。日頃からもっと多くの質問をしてほしいですね。

**広 報…** ここを工夫すれば傍聴者が増えるなど議会に対し助言はありますか。

**鈴 木…** 議場において今何が話し合われているのか概略でいいので資料がほしいと感じます。いつ誰が行ってもわかるようにするべきだと思います。(一般質問の時だけはもらえる) また、休憩のときに感じましたが、傍聴者のためにお茶などがあると嬉しいです。

**広 報…** 議会だよりに対しての感想は

**鈴 木…** やはり興味のあることにしか目がいきません。内容については、自分たちが普段話題にしていることに関連するものが少ないと感じます。福祉や医療、教育など女性や子ども、お年寄りの意見なども取り上げてほしい。

**広 報…** 議会全般についてありましたら。

**鈴 木…** 地域を回って意見交換をする議会報告会はよい取り組みです。これは続けてほしいと思います。ただ、女性の参加者があまりにも少なすぎると感じました。もっと議員個人の活動や考え方がわかる取り組みをしてほしいと思います。

**広 報…** 本日はありがとうございました

安田輝男議員



## 町長の3期目に向けた 出馬意思は

安田議員

町長 次期も町政を担わせて  
いただきたい

質問

水沼町政は、町民との対話、公正・公平を基本に、財政健全化などについて、町長自ら2期目の町政執行について、どのように総括、評価をしているのか。

水沼町長

主な取り組みは、畜産と河川環境条例の制定、別海町中小企業振興行動指針の策定を行った。

福祉では、特別養護老人ホームおよびデイサービスセンターの経営移譲を本年4月に行い、移譲先法人によって施設の建てかえに着手した。

一方、へき地保育園の老朽化に伴う整備を計画的に進めてきた。医療においては、新別海病院を、予定通り平成24年度に開設することができた。

また、札幌医大との教育連携事業の継続により、地域医療のあり方の検討を行っている。

さらに教育の分野では、学校の耐震改修や改築などを進めているほか、既存施設の長寿命化に取り組んでいる。評価については、現在、任期途中であり、

申すべきではないと考えるが、これまでの財政健全化への取り組みについては、一歩ずつ目標に近づいていると認識している。

質問

別海町第6次町総合計画について、折り返しの年である。平成30年度の最終年度に向けて（仮称）生涯学習センターや学校給食センターの建設、防災体制の強化など、重要課題が山積している。

町長の3期目に向けた出馬意思と、各施設建設に向けた具体的展望を伺いたい。

水沼町長

第6次別海町総合計画については、前期5年間の成果や課題を整理し、基本計画の見直しを行った。

（仮称）生涯学習センターの建設や、老朽化した学校給食センター



3選出馬を表明した水沼町長

建てかえ、災害時避難施設の建設をはじめとする防災体制の強化などについては、緊急の課題である。

また、地域を支える基幹産業に対する振興施策の取り組み、子ども・子育て支援新制度に基づく子育て支援の総合的な推進、町道をはじめとするライフラインの継続的な整備など、山積している諸課

題に対しては、いまだ道半ばである。

自治基本条例の精神のもと、今後とも協働と透明性のある姿勢で町政に臨んでいく必要がある。

次の4年間は、当町の将来にとって重要なときとなる。

次期改選においても町政を担わせていただくよう町民の皆さんの審判を仰ぎたい。

質問

当町の酪農畜産・水産業は、地域経済を支える重要な産業である。商工業や観光も同様で、これら産業振興対策が急務だ。具体的な振興策は。

水沼町長

農業については、成長産業化に向けて強い農業の構築、生産基盤の強化を進めている。漁業については、前

浜資源の安定確保が最も重要だが、資源の増大対策や消費者に信頼される産地づくりが必要である。

商工業は、中小企業の振興、中心市街地の活性化、企業の創出などが重要な課題である。

観光については、通過型観光から滞在型観光を目指し、様々な誘致対策に積極的に取り組みたい。



松原議員

# 別海病院で血液透析の 受入ができないか

町長 病院と十分協議  
しながら検討したい

質問

国民病と云われる糖尿病は国内患者数が推定800万人で、予備軍を含めると2200万人と言われている。

糖尿病の悪化による糖尿病性腎症の血液透析治療を受ける患者は年間1万7000人ずつ増加している。

腎臓病を主因とする道内の血液透析治療患者数は、人口10万人当たり全国平均を30人余り上回る280人とされている。

町は町内在住者で透析治療を受けている患者数について把握しているか。

今年度8月末現在で腎臓機能障害により更生医療制度を利用している患者は29名となっている。

竹中福祉部長

平成25年度血液透析実施医療機関へ通院で利用しているのは町立中標津病院に22名、釧路市内の医療機関4名、札幌市内の医療機関が3名となっている。

質問

町内在住の患者が別海病院で透析治療が受けられないため、町外、管外の医療機関で治療

を受けている現状がある。町長はこの現状をどう認識しているか。

水沼町長

日本国内の透析患者は、年々増え続けているのが現状だが、医療水準も上がったことで、以前に比べ血液透析治療によって長生きが可能になり、一般の方と変わらない社会生活を送られる方もいる。

透析治療は週2回から3回の通院と長期間の治療が必要なことから、患者だけでなく介助者が必要な場合は、家族にも大きな負担となっている。

家族の皆さんからなんとか別海病院で透析治療ができないか、切実な声もあがっている。

現在別海病院では血液透析治療を行っていることから、他の病院で治療を受けるための通院など、患者や家族の御苦労や負担をか

けている事は認識をしている。

質問

糖尿病の悪化による糖尿病性腎症は、血液透析治療を受けなければならぬ。

症状が進めば患者自ら車を運転して通院する事は難しいとされる。患者の負担軽減のため、別海病院での透析治療の実施が必要と考

えるが。

佐藤病院事務長

新病院建設時に透析治療ができないか検討している。

建設計画において、補助事業であったり、敷地が公園であったりして、面積も限られていた。

診療10科目を減らすことができない状況で、透析治療を行う場合の人員の確保、高額な医療機器の購入、スペースの確保など、採算性

も含めて検討したが、実施する事が出来なかった。

水沼町長

多くの医療スタッフ、医療機器の購入、治療スペースの確保など準備が必要となる。

今後、これらの解決すべき課題とともに、患者の動向なども含め、病院の医師とも十分に協議をしながら、別海病院で解決できないか、検討したい。

質問

町内の透析患者が、別海病院で治療を受ける事が可能となれば、患者や家族の負担も軽減されると考える。

町長は治療の実施について、どのように考えるか。



町立中標津病院の透析用ベッド

松原政勝議員



森本一夫議員



## 別海市街地の活性化対策を早急に

森本議員  
総務部長 (仮称)生涯学習センターを核として市街地活性化につなげたい

質問  
道東あさひ農協の事務所移転など、別海中心街の空洞化が進んでおり、早急な対策が必要では。

水沼町長

平成25年8月から別海町市街地活性化計画別海地区と、第6次総合計画の見直しを横断的に検討している。

さまざまな機会でのご意見を計画に反映、精査し10月中にも公表を予定している。

質問

(仮称)生涯学習センター建設の基本構想は。

佐藤総務部長

昨年12月に(仮称)別海町生涯学習センター基本構想策定委員会が設置され、本年4月の答申の中で、町の特性や財政状況、将来の人口推移もふまえ適正な規模とする提言を受けた。

建設候補地は、超高齢化社会の到来を考慮、徒歩で行き来できる中心地が望ましい。さらに市街地にぎわいの中核施設として整



役割を終え次の出番を待つ旧農協事務所

はその機能にも充分対応できるものとしてたい。

質問

町は活性化対策として、さまざまな補助事業を実施しているが、官・民の協力が要だ。

内容によつ

備するとともに、多機能を備えた複合化なども検討する。

また、具体的な財源確保についても関係機関と調整を行っている。

質問

災害発生時の避難場所としても重要と考えるが。

佐藤総務部長

現在の中央公民館は、避難施設から除外している(耐震構造施設でない)が、新しい施設

有田産業振興部長

担い手育成事業の環境として、官・民が協力し、別海高校生14名により大学への視察研修を実施した。

今後、第6次総合

計画、中小企業振興行動指針案をもとに、有効性のある地域活性化対策を講じていく。

森本議員

別海高校普通科3間口維持にむけて具体的な対応は

教育長

子ども達を選択しやすい環境づくりを

質問

別海高校普通科学級減の対応は。

真籠教育長

道教委の計画どおり一学級減となったが、要請活動の中で、平成28年度以降学級増の可能性もある。

子ども達が選択しやすい環境づくりのため、現在実施している部活バスに加え、新規に通学費の補助(無償化)、進学対策も高校と連携をとり、有



部活動に対する遠征費の補助も検討されている(別海高校野球部 春季釧根支部大会より)

木嶋議員

### 地域生活バスの運行 見直して交通弱者対策を

町長 実態を調査し検証したい

質問

町営バスの乗降客数は、平成19年度5万6108人だったのが、平成25年度には3万7463人に減少している。その要因は。

佐藤総務部長

少子化の影響による学生輸送人員の減少があげられる。また65歳以上の運転免許保有者数が増えつつあり、乗用車の保有数も微増している。

質問

町営バスは地域と地域をつなぐ大事な部分だが、その役割は変わってきているのでは。

佐藤総務部長

町営バスは基本的な生活の足を守るということで、路線を維持してきた。人口の変化、少子化が大きく進む中、実態が変わってきて見直しも必要な時期だと認識をしている。

質問

交通弱者の移動支援について、デマンドバス※や乗り合いタクシーなど積極的な施策が必要だと考えるが。

水沼町長

デマンドバスや乗り合いタクシーの運行は、利便性向上になるが、公平なサービスのためには、新たな経費の負担が必要となる。地域生活バスの運行方式の見直しを検討しながら、現在の制度は維持したい。

また、交通弱者や行政サービスが受けられないおそれのある方々の実態を調査し検証したい。

木嶋議員

### 自殺予防対策の推進は

町長 行政・町民が一体となって考えたい

質問

当町では平成15年からの10年間で58人の方が自殺で亡くなっている。この地域の自殺者の特性は。

竹中福祉部長

全国の傾向と差はないが、性別では男性が7割以上、年齢階層別では、50代が3割を超えて、さらに50代以上が6割以上を占める。

※デマンドバス

利用者の要求に対応して運行するバス。電話などで事前に連絡し利用する。



住民にとって、貴重な移動手段となっている地域生活バス

職業別では主婦や年金生活者を含む無職者が多く、次いで自営業、家族従業者の順となっている。

原因動機別では、健康問題が最も多く、次いで家庭問題、経済生活問題の順となっている。

また未遂歴のある方が再び自殺に至るケースが、全体の2割程度を占めている。

質問

保健センターで行っている心の健康相談の現状は。

門脇保健センター長

毎月3回、木曜日の午後から行っている。25年度の相談件数は延べ74件で、相談内容は健康問題などである。

質問

自殺の要因は多岐にわたるが、予防対策のための連携は。

竹中福祉部長

本年2月から3月にかけて自殺が多発したため、自殺対策連絡会議を立ち上げ、自殺未遂者とその家族への支援のための組織づくりを進めている。

今後、町内の学校を含む教育機関や傾聴ボランティア団体などとも連携したい。

また、悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて必要な支援につなげる人「ゲートキーパー」の研修を、町の窓口対応職員向けに11月に行い、以降町内の関係機関にも拡大していきたい。

質問

町として自殺予防対策の推進は。

水沼町長

深刻な問題として、我々そして町民の皆さんが一体となって考えていくことが極めて大事だ。

木嶋悦寛議員



中村忠士議員



## 海兵隊情報公開の面で後退している

中村議員

町長 従来のものと異なり遺憾である

**質問** 米海兵隊は連続して野火を発生させ、昨年は牧草地に砲弾を撃ち込む重大な事件を起こしている。住民の不安は大きく、安全対策などについて丁寧な説明や情報開示

が求められている。しかし、海兵隊による説明会が去年も今年もなかった。訓練公開も一般市民や報道関係者の参加ができなかった。情報開示、説明責任の面での明らかな後退だ。

**水沼町長**

昨年の場外着弾事故を受けて、説明会や訓練公開の実施を強く求めてきた。

今回、説明会、訓練公開ともに行われたが、従来のものと異なっていたことは遺憾だ。

**質問**

訓練公開時に、指揮監督所テント横で、複数の海兵隊員が喫煙している現場を目撃した。一昨年、野火を発生させた際、当時の司令官が訓練中の喫煙を禁止したと説明していた。火事を起こした時は規律を強めるが、時間

がたてば弱める。規律を弱めるべきでないとしつかり要請していく必要がある。

**水沼町長**

規律の維持については絶えず要請をし、しっかりと認識していただくことが大事だと思っているのです、そのことはやっていく。

**質問**

海兵隊司令官が、「砲撃の際に、海兵隊が行う確認作業の再確認を自衛隊がやっている。着弾監視も自衛隊と



花咲港から矢臼別演習場へ向かう米海兵隊車輜

海兵隊が同じ場所で行っている」と答えている。これは、今回の訓練が単なる海兵隊による実弾射撃訓練の枠を超えた日米共同訓練になっていることを示している。当初の約束である「沖繩の訓練と同質・同量」という範囲を逸脱している。訓練の拡大・強化であり、許されない。

また、司令官が訓練公開の際に、「安全対策について海兵隊として新しいことは特にしていない」と発言している。自衛隊の支援を受けなければならぬほど危険な演習は返上すべきだ。

**水沼町長**

今回の訓練では、求めていた安全対策、安全管理が徹底されたものと受け止めている。今後も安全確保のために徹底的にやっていく。理解してほしい。

中村議員

## 期日前投票所を複数個所に

選挙管理委員長

実現に向け取り組む

**質問**

6月議会で「期日前投票所を全町一カ所から複数個所に増やしては」と提案したが。

**高崎選挙管理委員長**

二重投票の防止、人員の確保など解決しなければならぬ課題もある。

今後、町長とも協議し、さらなる検討を行い実現に向けて取り組んでいく。

**質問**

身体の不自由な方の投票については、郵便などによる不在者投票の制度はあるが、相当重度の方でなければ該当しない。投票所に行くのが困

難な方をサポートする制度を作る必要があるのではないか。

**高崎選挙管理委員長**

公職選挙法の運用などを見極めながら、活用できないか検討していく。

**質問**

第4（尾岱沼）、第17（西春別駅前）投票所の締め切り時間の繰り上げは、投票率向上に逆行するのでは。

**高崎選挙管理委員長**

地域の実態を考慮し最も現実的で、総合的にみて望ましいとの判断から提案したので、協力をお願いしたい。

瀧川議員

## ご意見箱の活用効果は

総務部長 基準を見直し

積極的に公開を検討

質問

役場庁舎内などに、住民の意見を聞くためのご意見箱が設置されて久しい。施設によっては「意見に対しての答えがない」という声も聞かれるが、住民の意見の積み重ねが、町づくりに繋がる。

町のホームページでは、ご意見箱が設置されているすべての施設を対象として、意見と回答が公開されているか。

佐藤総務部長

役場本庁舎、西春別支所、尾岱沼支所（東公民館）、上春別・上風連（連絡事務所）それ以外として町立別海病院にご意見箱を設置している。本人が公開を承諾している投稿の内、公開しても問題のない意見・要望について公開している。

質問

町として出さないと判断する理由は何か。

佐藤総務部長

本人が公開してほしいとした場合でも、特定の個人・団体・職員などを誹謗中傷する内容の場合、また営業行為に関するなど、公開

に相応しくない意見と判断した場合だ。

質問

本人確認できない場合はどうか。

佐藤総務部長

本人確認できないという理由で公開しないということはない。

質問

病院への意見は1件しか回答がない。載せていいとしたのは1件しかないか。

佐藤病院事務長

公開してほしいというしるしをつける形になつている。確認した限りでは1件ではないが、公開状況は同じ条件で行っている。

質問

厳しい意見も励ましの意見もあると考える。厳しい意見にも回答することで町民も職員も

次に進んでいくことができる。基準範囲を広げ、情報公開する考えはあるか。

佐藤総務部長

ご意見は年々増加している。

平成22年度50件。

23年度58件。

24年度78件。

25年度には102件寄せられた。

(ホームページ・ご意見箱・郵送・電話含め)

基準を見直しながら、積極的に公開する方向で検討する。ご意見箱の設置場所についても広報誌などで広く周知していく。



役場庁舎ロビー公衆電話横に設置されたご意見箱

## 町歌を町民が歌えるために

瀧川議員

町長 町歌に触れる機会を作るよう検討する

水沼町長

別海町歌は先人の開拓の苦勞や、町の発展を願って、昭和43年12月3日告示された。

表彰式や成人式などで斉唱している。

町民が愛着を持ち、口ずさむために是非覚えていただきたい。可能な限り町歌の歌詞や曲に触れる機会を作るよう検討していく。

質問

先日報道番組で、故郷から遠く離れた若者たちが故郷の町歌を楽しそうに、誇らしげに歌う姿を目にし、この若者の心の中に故郷はいつも生きていると感じた。

別海町歌は、厳しいこれまでの歴史と、自然を織り交ぜた素晴らしい歌だと感じている。自然に口ずさむことができ、町への想いを刻める町歌を浸透させるべきと考えるが。

一般質問のその後

ご意見箱使いやすくなる。ご意見箱のほかに、インターネットの普及により24時間意見を受け付ける体制が整い、ホームページにも専用の意見投稿機能が設けられました。

出されたご意見や質問は調査の上、一週間以内にお返答されます。調査に時間を要する場合、理由と回答日の目安を一週間以内にお知らせするとのことです。(9月29日回答)

瀧川榮子議員



# 各常任委員会の うごき

第2回定例会から第3回定例会の間に行われた各常任委員会の活動について概要をお知らせします。



中春別中学校新校舎の多目的ホール

**総務文教  
常任委員会**  
委員長 松原 政勝

## 学校耐震化改修事業

8月20日、全面改築された中春別中学校の新校舎の視察を行いました。道産のカラマツ材がふんだんに使われた室内と、明るく機能的な教室が印象的でした。

## 野付半島避難施設について

野付半島の津波災害に対する避難施設の概要が示され協議されました。

- 設置場所は、ネイチャーセンター近くの既存展望台
  - 想定避難者数164名（漁業者・観光客）
  - 避難床高さ6.6m
  - 避難床面積82㎡
- その他設備や備蓄冬期間の防寒対策などについて説明を受けました。

委員からは、

- 自動車避難の場合、渋滞や道路の寸断などが予想される。
- 避難手段はタワーだけでなく、救命艇やシェルターの設置など複合的に考える。などの意見が出されました。

## 市街地の活性化計画

老朽化した公共施設や空き店舗が多いという市街地の現状について担当より説明を受け、地域コミュニティの維持が困難になるという課題が提示されました。

- 計画には3つの基本方針が示されており、
- ①豊かな地域生活の持続（町有地の宅地化、防災施設整備など）
  - ②地域活動の主役を作る（社会教育の推進、団体活動支援など）
  - ③魅力ある商業地域と環境の創出（中小企業支援・まちづくり団体の推奨など）

第6次総合計画の中で具体的に計画化されるとのことです。

委員会の協議として、行政もまちづくりに積極的に関わる必要がある。

●土地の区画整理、空き家対策など行政としての役割が必要。

●経済団体には経済活性化に繋がる企画を計

**福祉医療  
常任委員会**  
委員長 小林 敏之

## 町立別海病院経営などについて

今年2月より小児科常勤医師が着任し安定した状態ですが、今後は産婦人科の体制を整えることが必要です。

また、薬剤師も確保し、7月16日より勤務しています。看護師と理学療法士は今後も公募すると報告を受けました。



新任薬剤師 坂井勇太さん

画していただきたい。などが出されました。

## 特別養護老人ホームの建て替えについて

平成26年2月6日付けで町と柏の実会は、経営移譲協定書を取り交わしていますが、本体工事などの入札が平成26年7月2日、柏の実会において執行されました。

工事契約金額は、約20億8900万円。工事監理業務は、実施設計を行なった日本都市設計と約2100万円を契約を締結しました。

## 子育て支援策について

すべての子どもの良質な成育環境を保障し、子ども・子育て家庭を社会全体で支援するため、平成27年4月から「子ども・子育て支援制度」が本格的にスタートします。

財政支援の制度は「施設型給付金」と「地域型保育給付金」となります。

財政支援の仕組みを一体化することで、へき地保育園の制度がなくなり、このままで残ることは運営経費などの交付を受けられなくなります。「認定子ども園」にするか、または幼稚園、認可保育園に移行するか検討中とのこと。

国の給付制度を利用する施設は公定価格に沿った範囲内で保育料を決定しなければなりません。



### 根釧の食肉センター建設計画

現在、釧路市で稼働中のと畜場は、昭和46年に設置されたもので、

ませんが、国が示す公定価格の公表や新制度への移行に伴う国の制度設計作業が遅れているため、当町でも遅れた状況で作業を進めているとのこと。

### 予防接種の実施について

予防接種法第三条により現在11種類の疾病を対象として定期的に予防接種として実施しています。

本年10月1日より「水痘」「高齢者の肺炎球菌感染症」が追加されました。

施設の老朽化が著しく、安全面などでさまざまな課題を抱えているため、平成27年度末の廃止が決まっています。

根釧からと畜場がなくなると食肉の処理加工は管外への搬送となり、搬送コストの増、家畜の市場価格の低下

などが予想されます。

こうした影響を回避し、安定した酪農経営が維持されるよう、標茶町にと畜場が建設することが決定しました。

現時点で想定される事業費を61億円と見込み、平成29年1月の完成を目指しています。

当委員会では、このような現状を踏まえ、8月27日に北海道畜産公社・十勝工場の視察調査を行いました。

十勝工場は道内最大

規模で、現在の根釧工場の5・5倍となっています。

注目される事は、徹底した衛生管理、職員の技術力向上への努力が日々意識的に行われているということ。

また、処理単価が一般牛の倍になる和牛などの割合が多いことが、採算性が高い要因です。

根釧工場の必要性は確認されていますが、衛生管理などを徹底し、採算性の課題解決策が



適切な衛生管理のもと次々に包装される食肉 (畜産公社 十勝工場)

重要となっています。

### バイオマス直接燃焼発電

帯広市にある(株)日本家畜貿易のバイオマス発電施設を視察しました。

この施設の特徴は家畜ふん尿を燃やして発電することで、畜産農家のふん尿処理と電力需要が一緒にまかなえる環境にやさしいシステムです。

メリットとしては、ガス化発電に比べて設備が安価。発電工程がシンプルで故障が少ない。焼却灰は無臭・無害・栄養豊富で肥料として利用価値が高いことです。

普及するためには、売電の買い取り価格が低いことが課題だそうです。

バイオマス発電の新しい処理施設として注目されるところです。

## 野付半島の魅力を伝えたい

別海町野付半島ネイチャーセンター 専門員 <sup>なかつか</sup>中塚 <sup>ともこ</sup>智子



野付通行屋跡遺跡出土遺物 別海町の歴史の一端です



四季折々の野付半島周辺の自然を写真にて説明

「ここは日本じゃないみたいですね」  
 広大な野付半島の景色を見て、お客さまからよく言われる言葉です。当センターはそんな眺めの良いところに建ち、自然情報の提供やガイド、みやげ物の販売などを行っています。

初夏、野付湾に打瀬舟が浮かぶ頃には半島も一面の花に覆われ、多くのお客様で賑わいます。地元ガイドさんに手伝ってもらいながら、年間2500名を超えるお客様をガイドしています。当たり前に感じている景色も、道外の人にとっては驚嘆に値する景色。そんな野付半島の環境も、近年はエゾシカによる食害や、ウチダザリガニ、セイヨウオオマルハナバチといった外来生物の侵略の危機にさらされています。

景勝地、トドワラも衰退の一途です。人間が引き起こしたものの、自然現象によるものなど問題は様々です。人の力ではどうすることもできないものもありますが、郷土学習として野付半島を訪れる地元の小中学生たちが、将来胸を張って野付半島の魅力を伝えられるよう、今できることをやっていきたいと思えます。

### 議会のひろき

北方四島交流訪問事業（色丹島）に6月6日から9日まで戸田博義議員が参加しました。

### 編集後記



第36回別海町パイロットマラソンも無事に終了し、多くの参加者とそれを支えるボランティアの方々には敬意を表します。

これが終了すると本格的な秋がおとずれ、あつという間に降雪の時が来ます。

気温の変化で体調もついていけない……食欲の秋、おいしいものを沢山いただきたい寒い冬を乗り切りましょう。（森本委員）

9月27日、御嶽山が突如噴火、多くの犠牲者を出し、未だに不明者の方が取り残されているとのこと。何故早く予知できなかったのか悔やまれます。

当町でも約20年前に釧路根室沖地震が発生し、多くの被害が出ました。このことから各地で防災訓練が盛んに行われております。あらためて防災への備えを再認識しましょう。（松壽委員）

携帯電話は車を止めて！安全はスピードダウンと車間距離